

「学びの革新」指導展開例

＜基本情報＞

- ◇教育課程 自立活動
- ◇学 年 中学部 第2学年(2名)
- ◇領 域 名 「健康の保持・身体の動き おそうじエクササイズ」
- ◇領域の目標
 - 体調を整える, 生活のリズム, 生活習慣の定着。
 - 正しい姿勢や運動・基本動作の向上。日常生活の基礎動作の向上。
- ◇本時の目標
 - ・ 準備運動の中で, それぞれの課題に応じた動きを, 時間や回数を意識し運動することができる。
 - ・ 窓ふきの運動で, 手を左右に印に合わせて大きく動かして拭くことができる。
- ◇生徒の実態

知的障害と身体障害, 聴覚障害を併せ有する生徒A, 膝を曲げてしゃがみ立ち上がる, 両手を高く上げるなど, 日常動作の中であまりしない動きや下肢の筋力・安定力が弱く, バランスを取りながら歩くことは苦手である。

知的障害と身体障害を併せ有する生徒B。足部の筋緊張が強く, 可動域が狭く骨盤周囲の筋力と同時収縮が十分ではない。左下肢で体重を支える時は, 骨盤が左側へ寄る。

＜学習過程(抜粋)＞

学習活動	指導上の留意点		
	A	B	全体
2 本時の活動を知り, 目標を決める。	○活動内容をイラストや見本, 短文で伝える。(T1)	○集中がそれでしたらホワイトボードを見るように促す。(T2)	○予め, 目標の選択肢と活動をホワイトボードに示し, 目標を選択肢の中から選んで示せるように, 丸のカードを準備しておく。(T1)
4 振り返り・自己評価	○iPad に目標達成しているか分かりやすい写真や動画を取り込み, 見せる。(T1)	○iPad に目標達成しているか分かりやすい写真や動画を取り込み, 見せる。(T2)	○選択の言葉を示して選ばせるようにする。(T1)
5 本時のまとめと次時の活動を知る。	○iPad で示し, 動きを思い出せるようにする。	○iPad で示し, 動きを思い出せるようにする。	○動作やカード, ホワイトボードを示しながら伝える。 ○運動で使った部分を赤い矢印で示す。(T1)

各生徒に運動の目標回数を設定させ, 自らが決めた回数を最後までやりきる意欲をもたせるようにしています。

ICT 機器を活用し, デジタルカメラで撮った授業時の写真や動画で即時評価し, 目標達成したかを確認させることで, 生徒が自己評価しやすくし, 達成感が味わえるようにしています。また, 自分の動作や姿勢のどの部分を修正したらよいかも確認することができ, 次時の学習活動の目標や見通しとなっています。

目標を生徒自らが選択・決定することで, 受動的ではなく積極的な学習活動にさせている。基本的な活動の流れがルーティンでもあり, 一連の活動内容を生徒が意識できているので, 生徒が次の活動の場に自分で移動したり, 使用する教材等積極的に用意, 使用したりしている。

特に振り返りの活動で, 情報機器を活用し, 頑張りを確認させながら評価したり, よかった点や修正点を見させながら客観的に確認させたりすることは, 即時的なフィードバックとなり, 次時に向けた課題意識をもたせるのに有効である。